

令和7年第1回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
1	17	新生会 木村和彦	1 令和7年度の市政運営について (1) 重点事項と予算編成について 2 持続可能な誇れる農業の推進について (1) 令和7年度の水田農業の課題と展望について (2) ササニシキ系ブランド米ささ結の生産拡大と販売戦略について (3) みどりの食料システム戦略のさらなる取組と本市が目指す有機農業計画について 3 大崎市における多文化共生について (1) 本年4月に開校するおおさき日本語学校の対応について (2) 今後の運営と宮城県との連携について (3) 今後の明確なビジョンと運営、経営戦略について (4) 留学生への受入れ態勢整備と関連する地域や関係団体等との連携について 4 おおさきの産業振興展望と課題について (1) 成長の見込める投資的事業構築の可能性について (2) 産業振興に寄与する人材育成について 5 陸羽東線について (1) 運休している鳴子温泉－新庄間の現状と復旧計画及び今後の見通しについて (2) 大崎市を中心とする沿線自治体の諸課題に対する連携、連動について (3) 陸羽東線を基軸とした観光戦略について 6 古川駅周辺のにぎわい創出について (1) 古川駅周辺の活性化を図るための具体的な計画と周辺地域や民間事業者との話合いの進捗について (2) 古川駅構内の再開発の施策と着手の予定について 7 空き家対策及び定住移住促進について (1) 空き家対策の総合的な施策の具体性について (2) 国が推進している二地域居住と今後の大崎市の対応について 8 林業振興について (1) 本市における森林環境税と森林環境譲与税の活用状況及び姉妹都市・台東区と自治体間連携した森林環境譲与税の活用について (2) 本市の適切な森林管理と保全を目的としたJークレジットの利活用推進について 9 市民の生命を守ることにについて (1) がん教育及びがん対策に関連する具体的な施策について (2) 大崎圏域における市町村連携の課題と持続可能な救急救命の在り方について 10 学校統合の計画について (1) 今後の学校統合の計画について (2) 既存の統合された学校の効果及び検証について (3) 今後の廃校施設の利活用について	90 分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
2	8	創新会 早坂 憂	1 施政方針について (1) 「地方創生 2. 0」の基本構想の5本柱は「安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生」、「東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散」、「付加価値創出型の新しい地方経済の創生」、「デジタル・新技術の徹底活用」、「産官学金労言の連携など、国民的な機運の向上」であり、これを踏まえた中で、大崎市は第2次大崎市総合計画後期基本計画に掲げる重点プロジェクトの3つの視点「挑む」「創る」「守る」を基軸に各種施策を展開していくこととした。合併からまもなく20年を迎える今、同時に行財政改革や働き方改革を進めるこの難局を乗り越えた先に、どのような大崎市の姿を描いているのか、所見を伺う 2 教育と生涯学習について (1) 様々な理由から学校に通うことができない児童生徒がフリースペース等へ通うために、利用料の一部を補助する自治体が増えている。本市でも行うべきと考えるが、所見を伺う (2) 学びの多様化学校を設置する自治体が全国的に増えているが、本市の考え方と方向性について、所見を伺う (3) 複数の教師が一つのクラスを受け持つチーム担任制を市内の一部学校でも行っているようだが、全市的に行う考えはないか、所見を伺う (4) 学校教職員の働き方改革と子どもたちへのきめ細かい学習支援につなげるための次世代型校務支援システムの導入見通し及び内容、学校DX推進との連携の考えを伺う (5) 学力向上対策への具体的な取組と、過年度実施した事業がどう生かされているのか、所見を伺う (6) 学校と地域との連携や協力の元になる地域コーディネーターの養成や学校支援ボランティアの募集を推進すべきと考えるが、所見を伺う (7) 休日の学校部活動地域移行は、令和8年度から完全移行としているが、地域や各部活動の実情を踏まえた見通しはどうか (8) 子どもたちや青年が主体的に参画するイベント等へ補助を行い、自ら考え協調する力を育み一体感の醸成につなげる考えについて、所見を伺う (9) 市内文化財への理解促進の観点から、学校における子どもたちへの学習、周知状況はどのような状況か、所見を伺う 3 市民協働の取組について (1) 地域活性化と一体感の醸成に有効な取組として、過年度にも実施したイベント等への補助を継続すべきと考えるが、所見を伺う (2) 大崎市話し合う協働のまちづくり条例について、これまでの条例の効果の検証はどのように行われてきたのか、所見を伺う	75 分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			(3) 行動計画を見ると、その計画の日付が平成 36 年という記載のままである。これだけを見ると計画が作成されたまま塩漬けになっている印象だが、見直しや改善はされてきたのか、所見を伺う (4) 大崎市こども計画の最終案の 119 ページに掲載されていた、こども若者の生活意識に関する調査結果を拝見したところ、地域活動や行事への参加状況への回答で、全く参加していないが 66.3%と非常に寂しい回答結果だった。まさに市民の 3 分の 2 が何にも参加していないということになる。コロナ禍の影響があったとはいえ、このような中で市民協働のまちづくりをどのように行っていくのか、所見を伺う 4 福祉行政について (1) 地域包括支援センターの拡充を求める声が多く、事業者や市民からもその声を聞く。ケアマネジャーとの相性など課題もあるようだが、拡充についての考え方と予防事業の検証、そしてその効果について所見を伺う (2) これまで、大崎歯科医師会や古川支援学校 P T A から要望のあった、障がい児・者歯科診療について、休日歯科診療と同様に、市が事業運営費等を支援することとなるが、事業内容、診療内容、実施時期、費用負担、そして将来的な費用負担について、それぞれ所見を伺う (3) 仙台市が青葉区に屋内児童遊戯施設を整備する方針を発表した。周遊性を高め、その経済効果を考えたとき、本市でも屋内児童遊戯施設を設置すべきと改めて強く考えるが、所見を伺う 5 大崎市民病院事業について (1) 地域医療連携拠点施設整備について、大崎地域の地域医療提供体制の目指す姿の実現に向けて必要となる機能を備えた施設を、令和 8 年度中の開所を目指すとしているが、その整備スケジュールの進捗状況と、持続可能な医療体制の実現に向けて、実現の可能性を確保するため自治体間で連携協定を締結し、役割分担を明確化としているが、現況について所見を伺う。あわせて、本市での市民への広報周知、4 町での周知の現況について伺う (2) 分院で行われている訪問看護・診療は、地域密着の事業として市民からの評価は高く、また人材育成の観点からも非常に重要な役割を果たしていると考えているが、今後の取組方と方向性及び民間との連携の在り方について、所見を伺う (3) 医師・看護師確保への考え方と人材育成について、大崎市民病院において、働き方改革や最新機器の導入をするなどして医師確保に向けて取り組んでいるものと考えている。また、人材確保対策として奨学金返還支援金貸付や初任給調整手当を導入し、看護師や薬剤師の人材確保に取り組んでいることと推察するが、その現況について所見を伺う。あわせて、人材育成への考え方について伺う (4) シンボルマークの活用を含めた大崎市民病院をより身近

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
3	25	日本共産党大崎 市議会議員団 小沢和悦	に感じるためのイメージアップ戦略について、イベント等でも積極的に周知啓発をしていくべきと考えるが、所見を伺う 6 大崎市の産業・観光振興について (1) 鳴子温泉地域の観光DMO設立に向けた政策推進状況について、地元の理解も得て検討委員会が立ち上がったと理解しているが、今後の進め方や現在の課題、見通しなどについて、所見を伺う (2) 今後の企業誘致はどのような方向性と考え方で進めていくのか、新たな誘致へ向けた分析と検証について、所見を伺う (3) 関係人口増加へ向けたシティプロモーションについて、大崎市の魅力を今後どのように発信していくのか、またその魅力をわかりやすく伝えるための新たなキャッチコピーを作るべきと考えるが、所見を伺う (4) 台湾で開催の日本東北有楽日に昨年も出展したが、その反応と反響はどうだったのか。また、一昨年の出展をきっかけに実際に大崎市を訪れていただいた方はどれくらいいたのか、出展効果の検証と実績について、所見を伺う 7 多田川流域における流域治水の推進について (1) 令和4年7月豪雨等により甚大な被害が頻発している名蓋川、大江川を含む多田川流域において、国、県、市町、地域等が連携し、浸水被害の軽減に向けた取組を共有してきた。今後、国から特定都市河川の指定も見込まれるが、その特定都市河川の法的枠組みを活用して、さらに流域治水を推進していくために、本市や地域住民及び関係団体が共に取り組む活動にはどのようなものがあるのか、所見を伺う (2) 吉田川、多田川流域の2つの河川が特定都市河川に指定となり、世界かんがい施設遺産、ラムサール条約登録湿地、日本土木遺産の鳴子ダムなど、水に関する大崎市の魅力と合わせ、流域治水の取組を観光資源として発信すべきと考えるが、所見を伺う 8 市内常襲冠水地域対策の進捗について (1) 下水道整備の最優先地域となる大江川周辺地区と江合、李埴、福沼地区の今後の整備について、方向性や時期の想定、地域住民への周知について、所見を伺う (2) 李埴地区から鶴ヶ埴地区の下を貫通する清水川伏越内部の土砂しゅんせつ作業の進捗状況について、所見を伺う (3) 松山地域中心部の浸水被害軽減に向けて事業が進められている千石堀排水区管渠築造工事の進捗状況について、所見を伺う 1 物価高騰対策について (1) 市民の暮らしを守るには生活費非課税の原則に基づく最も効果的な対策と応能負担の原則に基づく財源確保を政府	60 分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
4	13	改新クラブ 佐藤講英	に求めるべきと思うがどうか (2) 大崎市も、他市町のように全市民に行きわたる物価高騰対策を行うべきではないのか 2 生活困難を抱える市民に対する大崎市と市職員の姿勢と対応について (1) 失われた 30 年の上に物価高騰が続く中での市民の苦難に真剣に応える構えを市と職員全体が持っているのか (2) 大崎市は令和 7 年度に、会計年度任用職員と労働時間を削減する方針と聞くが、その方々の生活の心配や市民のための仕事がマイナスになることはないのか (3) 「なんでもご相談ください」のような目立つ看板を本庁、各総合支所に掲げることを提案しているが、なぜできないのか 3 農山村の訪問介護体制維持のため、大崎市の財政支援の必要性について (1) 訪問介護の基本報酬引下げにより、特に地方の訪問介護事業所の廃業が続出している。鳴子温泉地域、岩出山地域にホームヘルパーを派遣している事業所がなくなったらどうするのか。移動時間の多い農山村地域で訪問介護を必要とする市民を守るため大崎市は国に改善を求めるとともに、市独自の財政支援をすべきではないのか 4 子育て世代から要望の多い学校給食無料化等を実現する財源を生み出す対策について (1) 私が昨年年第 3 回定例会（令和 5 年度決算特別委員会）で取り上げた疑問のある公費支出についての検討はしたのか (2) 大崎市の行財政の中に、無駄や疑問のある支出がないかを徹底的に調査するチームを作ることを提案しているが、その気はないのか (3) 一般会計から公営企業会計に年間約 50 数億円の繰り出し金がある。合併前の古川市時代、執行部と議会が特別態勢をとって、経営改善に取り組み、成功した前例もあるが、それも参考に手を打ってはいかがいか 1 新年度予算編成について (1) 令和 6 年度当初予算では、喫緊の課題である人口減少、少子化対策については、子育てしやすい環境の整備を、ハード、ソフトの両面から推進するために政策推進枠を活用して、優先的に予算配分を行った予算編成とのことだが、第 2 期宝の都（くに）・おおさき市地方創生総合戦略の重点プロジェクトとして新年度、最も思いを込めている事業は何か伺う 2 財政健全化について (1) 一般会計における実質単年度収支は平成 26 年度以降、毎年度、財政調整基金の取崩しによって決算収支の調整を行っており、実質単年度収支の赤字は、基金に依存した収支状況であるが、令和 6 年度の決算見込みについて伺う	60 分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			(2) 歳入確保における遊休資産の売却や貸付けと、ふるさと納税やネーミングライツ事業など、創意工夫し新たな財源確保を図っているが、令和7年度の取組について伺う (3) 新年度予算の15%シーリングの具体的な内容とさらなる財政健全化に向けた取組について伺う (4) 金利上昇に伴い、基金で運用する国債や社債の時価総額が下落し含み損がある自治体もあるが、本市の現状と今後の対策について伺う 3 DXの取組について (1) デジタルトランスフォーメーション推進計画の進捗状況と市民サービス、行政、地域のデジタル変革推進の具体的な取組と成果や課題について伺う (2) 消防団の入団者が減少し活動に支障が出ているが、DXを推進し職員の負担軽減と地域住民の安全・安心を守る対策について伺う (3) DXを推進し医療機関の年末年始や長期休日等の予測困難な受診者増加への対応について伺う (4) 生活保護費を減額した県の法律違反を認めた処分取消しの事例から、国の生活保護関連通知集のデジタル化を推進することにより、職員の負担軽減と受給者に寄り添った対応について伺う (5) こども家庭庁は昨年6月に放課後児童クラブや学童保育の業務効率化、職員負担の軽減と継続して働いてもらえる環境づくりのためにICTの導入調査を実施し、新年度予算に反映するとあるが、本市の現状と今後の対応について伺う 4 大崎市立おおさき日本語学校の目指す方向について (1) 質の高い教育プログラムや優れた講師陣の確保と学生のサポート体制の整備、最新の教育技術の導入やフィードバックと改善、地域社会との連携等により、日本語を教えるだけではなく、おおさき日本語学校の質を高め、学生の満足度を向上させる対策について伺う (2) おおさき日本語学校生と意欲ある社会人学生の学習機会を拡大し、専門的な講座やセミナーを開催するなど、大学との連携によるサテライトキャンパスの設置について伺う 5 不登校児童生徒への支援対策について (1) 不登校の原因は多様で、個々の状況を理解し適切な支援を提供できる個別対応について伺う (2) カウンセリングや心理療法を通じた、不安やストレス軽減など自己肯定感を高める心理的サポートについて伺う (3) 保護者が子どもを理解し適切に対応できる家庭支援について伺う (4) 対人関係やコミュニケーション能力を向上させる社会的スキルの育成について伺う 6 地域コミュニティスクール導入の課題と対策について (1) 地域住民や保護者の参加意欲の確保と対策について伺う (2) 学校と地域の役割分担の明確化について伺う (3) 地域の人材、資源の確保について伺う

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
5	22	大志会 富田文志	(4) 学校側の負担増加とコミュニケーションの課題と対策について伺う 7 農業政策について (1) 中山間地域等直接支払交付金は中山間地域等における農業生産活動の維持活性化に重要な役割を果たしているが、一方では交付対象者の減少や担い手不足と制度の複雑さなどの課題があるがその認識と対策について伺う (2) 農地を守り、生かすため、地域の知恵と制度の組み合わせである地域計画においては、高齢化とグローバル競争、食料安全保障など持続可能な農地管理は喫緊の課題であり、特に中山間地の創意工夫について伺う 8 環境対策と再生可能エネルギーについて (1) 公共施設の屋根や市の遊休地に太陽光パネルの設置や、本市の森林資源や農業廃棄物を利用するなど、再生可能エネルギーの導入について伺う (2) 地域の森林を保護し、新たな植林の推進と、水田の中干し期間の延長によるＪ－クレジットの推進など地域の自然環境を活用したＣＯ２吸収等の取組について、所見を伺う (3) ワークショップやセミナーの開催による環境意識の啓発や企業と連携し、省エネルギーの導入を支援するなど、地域住民や企業との連携について伺う (4) 省エネ設備や再生可能エネルギー導入に対する補助等政策・制度の整備について伺う (5) 食品ロスを減らすための啓発活動やリサイクルシステムの構築等廃棄物管理のさらなる改善策について伺う 1 新年度予算編成の基本姿勢について (1) 予算編成の重点施策について ア 合併後 20 年になろうとしているが、今年特に配慮した施策について伺う イ 一体性の醸成と個性あふれる地域形成を、どのように融合させて予算に反映させているのか伺う (2) 新型コロナウイルス感染症 5 類相当移行後の財政運営について ア 震災後 14 年になるが、その間積み増しされてきた財政調整基金も残高が大きく減ってきている。健全な財政運営と有事に備えるためには、積み増ししていく必要があると思うが今後の方策について伺う イ 決算状況をみると財政調整基金が減る一方で起債残額は増加傾向にある。財政調整基金と起債をどのように調整して財政運営を進めていくのか伺う 2 陸羽東線鳴子新庄間の運行再開の見通しについて (1) 現状と今後の見通しについて ア 災害復旧がなかなか進んでいないように思われるが、ＪＲ東日本との運行再開に向けた協議はどのように進められているのか現状を伺う イ 復旧はＪＲ東日本頼りなのか。国の直接支援が重要だと	60 分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
6	1	NEXT 藤本勘寿	思うが、今後の運行再開に向けた市の考えと国への働きかけを伺う ウ 当面中山平駅までの区間延長はできないものか伺う 3 流域治水と蕪栗沼の役割について (1) 旧北上川水系流域治水について ア 旧迫川と江合川の流域治水の現状について伺う イ 旧北上川水系の流域治水に蕪栗沼が果たしている役割と現状について伺う 4 人口減少と世帯数、空き家対策について (1) 人口減少と世帯数の推移について ア 全体的には減少している人口だが、古川地域に集中している傾向がみえる。一方で世帯数は大きな減少が見られないがどのように現状をとらえているのか伺う (2) 増加する空き家の活用について ア 大崎市の人口と世帯数の推移をベースにした空き家拡大に対する見通しを伺う イ 子供の成長、独立による高齢夫婦世帯の増加が、その後の病気や介護、死亡によって空き家となるケースが増えている。空き家の実態調査を踏まえた上でどのような対策に取り組もうとしているのか伺う 5 義務教育学校について (1) 小中学生の教育環境整備について ア 児童数の減少を前提としない小中一貫校推進に向けた考えを伺う 6 市民病院の福利厚生について (1) 大崎市民病院の福利厚生について ア 医療スタッフの確保に大切な、働きやすい職場としての福利厚生の現状について伺う イ 病院ならではの福利厚生について伺う (2) 院内食堂の閉鎖について ア 現状はどのような状況になっているのか伺う イ なぜそのような状況になったのか要因をどのように整理しているのか伺う ウ 今後どのようにしていこうとしているのか対応策について伺う 7 地域商店街の再生と買い物難民の救済について (1) 商工会議所と商工会の現状について ア 商店街のにぎわいづくりに指導的役割を果たしてきた商工会議所と商工会の在り方について、現状をどのように捉えているか伺う (2) 買い物に不自由しない地域を守るために ア 地域によっては食料品や生活必需品の買い物ができない地域が増えているようだ。高齢世帯や運転免許証の自主返納により買い物に不自由をきたしている方が少なくないと思われるが現状と課題について伺う	45 分
			1 財政運営について	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
7	18	公明党 横山悦子	(1) 現状の財政状況の分析と正しい情報発信 (2) 行財政改革を進める上での定量的な目標 2 市役所職員の人財育成について (1) 若手職員が仕事にやりがい、楽しさを見出すために (2) 各職員の培ったスキル、体験を資産として蓄積し、組織として付加価値を生むための環境づくり 3 産業力強化について (1) 大崎市を含む宮城県北地域での今後の注力すべき産業 (2) 多様な働き方を選択できる環境づくり 4 教育について (1) 多世代での協働、市民参画促進に向けた対話スキル向上 (2) 高等教育・研究機関設置の可能性 1 令和7年度施政方針と予算編成について (1) 課題として人口減少、少子高齢化、生産人口減少の増加等本市の現状をどう認識しているのか (2) 公共施設の維持、更新に関し、最も大きな課題として捉えていることは何か (3) 予算編成において、厳しい財政状況の中、最も力を入れた点、最も苦勞した点について伺う (4) 会計年度任用職員の時間減と今後の考えについて 2 避難所環境の抜本的な改善について (1) 災害時に避難所となる小中学校の体育館などに空調を新設する場合、費用の2分の1を国が支援する。本市のエアコンの設置の考えについて (2) 災害関連死を防ぐ、3つの要素TKB48が重要視されている。Tはトイレ（清潔なトイレ）Kはキッチン（温かい食事）Bはベット。イタリアでは発災から48時間以内に設置と法律で定められているが、本市の防災計画について伺う 3 ふるさと納税活用推進について (1) 目標を掲げ取り組む政策の今後の見通しについて 4 公有財産を活用した財源確保について (1) ネーミングライツ事業の今後のさらなる実施計画について 5 市民の健康を守る取組について (1) 令和7年4月から厚労省より带状疱疹ワクチンの定期接種が定められた。本市の生ワクチン、不活化ワクチンの助成額と接種年齢について伺う (2) 胃がん検診における胃カメラ検査の実施について伺う	30 分